

duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

いつも本紙を読んでくださっている方は、「あれ、今月のドーモはないのかな?残念…」と思われていたかもしれませんが、ちゃんと毎月発行しますのでご安心ください! 今月は先月末から月をまたいでイベント(本紙掲載)をしていた関係上、少し発行が遅くなってしまいました。足守の空き店舗をDIYで改修する1週間。とても刺激的でとても楽しくとても勉強になる、そんな1週間でした! イベントのすべてを本紙に書こうとすると2年間くらいかかってしまうため、本紙では、抜粋に抜粋を重ねてお伝えします! 「あしもり暮らし(@ebisuya\_fudousan)」のInstagramアカウントやホームページでイベントについて随時投稿しますので、そちらもよければご覧ください!(^^)/

—空き店舗から、地域の居場所をつくる1週間—

1/27 ~ 2/3

## 足守空き店舗再生DIY-WEEK

地域の空き家を有効な資源として再生・活用していくためには、多くの人にその空き家にかかわってもらい様々なアイデアやつながりを持つことが効果的。でも、その活動を「楽しい」と思ってもらえないと人は集まりません。

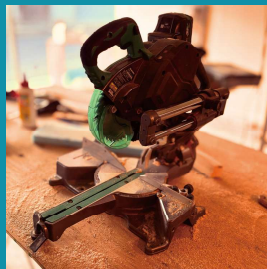
ということで、まさにその「楽しい現場」を全国各地で実現されている**コミュニティ大工**の**加藤潤**さんをお招きして開催した今回のDIY-WEEK。加藤さんや参加者の皆さんと1週間現場を共にすることで、いろんな発見がありました。参加者の皆さんにはきっと実感いただけたであろう「楽しい現場」はどうやって作られているのか。今回気づいたことをお伝えします!

### 楽しい現場はこう作る!

#### ●電動工具

まずは、便利な工具を使う!

もちろん、手のこを使って木を切ることも技術力の向上には大事ですが、電動の工具を使えば、素人の方でもすぐに戦力になります! ワークショップという限られた時間の中で「楽しい」と思ってもらうには、「自分でもできた!」と思ってもらうことが一番。電動工具はその成功体験をより手軽で身近なものにしてくれます。



#### ●現場メシ

そして、一緒に食べる現場メシ!

意外に思われるかもしれませんが、この現場メシが一番大事とまで言われる究極のコミュニケーション方法なのです!

一緒に現場を作り上げている仲間たちと食卓を囲めば、自然と話も弾み、そのあとの作業もよりやりやすく楽しくなります。しかもこの料理は加藤さんや参加者の方で作るので、料理好きの方は腕の見せ所ですね!



加藤さんが本拠地・鹿児島からはるばる乗ってこられたバンの中には、数えきれないほどの工具が積まれています。大勢の方が参加しても全員に仕事がいきわたるように様々な工具を複数用意されていて、そのおかげで初心者の方でもすぐにバリバリ作業ができます。そのことに関して、今回のイベントの中で印象に残った場面を二つご紹介します!

#### ●参加者から参加者へレクチャー

一つ目は、参加2日目の学生さんが、参加初日の参加者さんに丸ノコの使い方を教えてあげていたことです!

ご自身も初心者には違いない学生さんですが、2日目にはもう工具を使いこなす人に教えてあげている姿を見て、参加者が学び他の参加者を育てていく「コミュニティ大工」のすごさを思い知りました。是非今後もえびすやに力を貸してください!



#### ●「付き添い」→「プレイヤー」に

二つ目は、お孫さんのお守りをするために娘様の付き添いで来られたという参加者さんが、お孫さんはほかの参加者さんに預け、壁を作る作業に没頭されていたことです!

「自分は付き添いだから…」と言われていた方が、1時間後には工具をバリバリと使いこなしていることが、おもしろくもあり、とても素敵なことだと思いました! またこちらの方は、現場メシの盛り付けも手伝ってくださって、お孫さんやほかの参加者の方と楽しそうに召し上がっていました◎

